

系	統	2液型エポキシ樹脂系打継ぎ用接着剤
特	長	1) 新コンクリート打設までの「打設有効時間」を72時間有する。 2) 新旧コンクリート、モルタルの打継接着性に優れる。 3) 塗布作業性に優れる。 4) 湿潤面への接着性に優れる。
用	途	1) 新旧コンクリートの打継ぎ、嵩上げ用
配	合 比	主 剤：硬化剤 = 4：1 (重量比)
荷	姿	10kgセット (主剤/8.00kg、硬化剤/2.00kg)
外	観 性 状	主 剤…白色粘稠液状 硬化剤…黒色低粘度液状 混合物…乳白色揺変性液状

可使時間の目安

タ イ プ	Wタイプ		Sタイプ		
温 度 [°C]	5	15	15	20	35
可使時間 [分]	90	60	70	60	20
打設有効時間[時間]	120	120	120	120	72

適用温度範囲：Wタイプ 5～15℃、Sタイプ 15～35℃

比	重	1.2 (硬化物)
標	準 使用量	0.3～0.5 kg/m ² (粗仕上げ(型枠)面) 0.5～0.7 kg/m ² (ハツリ面)
貯	蔵 保証期間	12か月 (未使用、冷暗所保存)
消	防 法 による 区 分	主 剤 危険物 第4類 第3石油類 非水溶性 硬化剤 危険物 第4類 第3石油類 非水溶性
毒	物 及び 劇物 取 締 法	主 剤 該当しない 硬化剤 該当しない
使	用 方 法	1) セット単位または主剤、硬化剤を配合比にしたがって計量して使用する。 2) 計量した主剤、硬化剤を攪拌機で均一になるまで十分に混合攪拌する。 3) 刷毛、ゴムベラなどで打継ぎ面に塗布する。 4) 打設有効時間内にコンクリート(モルタル)を打設する。 5) コンクリート(モルタル)の養生を行う。
使	用 上 の 注 意	1) 接着面の表面処理を十分に行う。(レイタンス、汚れ、水分の除去) 2) 接着面に浮いた水がある場合は、浮き水を除去する。 3) 主剤と硬化剤の混合攪拌時、空気を巻き込まないように、低速で攪拌を行う。 4) シンナーや水を混入して使用しない。 5) 混合攪拌終了後すみやかに塗布し、可使時間内に塗布作業を終了する。 6) 日射等による接着剤塗布面の温度上昇に注意する。 7) 打設有効時間内に、セメントコンクリートの打設を終了する。 8) コンクリート打設時、接着面にべたつきがあることを確認する。 9) コンクリート打設後2週間程度まで、過度の振動、衝撃などを与えない。 10) 収縮、膨張等動きの大きいコンクリートを打設する場合は、接着面が乱れ、所定の接着力が確保されない恐れがあるため、あらかじめ動きが無いように拘束するなどの対策を実施する。(例：無拘束の膨張コンクリート等)

⚠ 注 意

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none"> 健康上、注意を要する物質を含有しています。 皮膚に付着すると“かぶれ”を起こすおそれがあります。 取り扱い中は、保護眼鏡、保護手袋、保護マスク等を着用してください。 詳細については安全データシート(SDS)を参照してください。 |
|--|